

なぎがま 甲

なぎがま
コミュニティスクール
下諏訪中学校だより
令和6年(2024)
7月26日(金) No.4

各学年行事が盛り沢山！様々な姿が見られました。

1年生：ふれあい学習



2年生：マイスター（技能職）体験



3年生：進路講話、租税教室



PTA あいさつ運動&環境整備作業が行われました！



去る6/5(水)~7(金)にPTA活動の一環として、そして7/1(月)には社会を明るくする運動として、挨拶活動が行われました。PTA役員の方と共に、多くの生徒ボランティアも活動に参加し、大きな挨拶の音が響いていました。普段から挨拶の音が響き渡り、気持ちよい生活を送れる下諏訪中でありたいですね。



また、6/31(土)にはPTA作業が行われました。暑い中でしたが、例年行っていた体育館と講堂のワックスがけ、教室のエアコンフィルターの掃除に加え、今年度は災害備蓄庫の整頓とを行っていただきました。おかげさまで生徒が過ごしやすい環境が整いました。普段からよく使う場所でも手が足りずになかなかできない作業を、生徒たちのために行っていただき、ありがとうございました。



また、6/31(土)にはPTA作業が行われました。暑い中でしたが、例年行っていた体育館と講堂のワックスがけ、教室のエアコンフィルターの掃除に加え、今年度は災害備蓄庫の整頓とを行っていただきました。おかげさまで生徒が過ごしやすい環境が整いました。普段からよく使う場所でも手が足りずになかなかできない作業を、生徒たちのために行っていただき、ありがとうございました。

中体連結果報告 個人戦中心に県大会へ進出!!

陸上	各種目 入賞及び標準記録突破ならず 惜敗
軟式野球	1回戦 対西箕輪 惜敗
男子テニス	個人戦：惜敗 団体戦：惜敗
女子テニス	個人戦：8位入賞(中井, 今井)、県大会出場！→県大会惜敗 団体戦：惜敗
男子バスケ	決勝トーナメント ベスト16 対箕輪 惜敗
女子バスケ	決勝トーナメント ベスト8 対箕輪 惜敗
男子バレー	決勝トーナメント ベスト16 対旭ヶ丘・鼎 惜敗
女子バレー	決勝トーナメント ベスト8 対富士見 惜敗
水泳	吉沢香鈴さん 50m自由形6位入賞、100m自由形7位入賞 →県大会出場！ →県大会惜敗
サッカー	予選リーグ 惜敗
体操	県大会 惜敗
ボート	佐鳴湖カッター 女子クォーター2位(金見, 岩波, 高野, 坂野, 國松) 女子シングル2位(小口)、男子シングル2位(齊藤) 男子クォーター2位(岩崎, 松林, 林, 栗田, 熊谷)

8月のおもな予定

22日(木)	2学期始業式・45分短縮授業
23日(金)	3年総合テスト①
26日(月)	3年修学旅行(～28日)
29日(木)	2年八ヶ岳登山(～30日)
30日(金)	1年性教育講演会

※ 詳細につきましては「8月暦」をご覧ください

学校完全閉庁になります！

7月20日(土)より、「夏休み」に入ります。それに伴い、8月7日(水)から16日(金)まで、学校は「完全閉庁」となります。この期間に、お急ぎの連絡がある場合は、平日：教育委員会教育総務課係(28-0001) 休祝日：役場(27-1111)までご連絡をお願いします。詳しくは19日に配信された「申し合わせ事項」をご覧ください。

Tシャツの裾出しについて、生徒と共に考えました (これからの学校への一歩になるとよいかなど)

「命に関わる危険な暑さ」といった言葉がニュースで語られる近年です。また、服装は時代により変化をします。「Tシャツの裾を出すこと」は大人世界では今や普通ですが、ここまで下諏訪中では夏場に制服の代わりとして着用するものであることなどをふまえて裾出しはしてきませんでした。生徒からは裾出しの希望も出されていました。

そのような中、校友会(生徒会)女子副会長より「裾出しについて話し合いをしてみたいです」との提案があり、生徒の思いや先生方の思いが出し合える場をつくってもらいました。話し合いたい希望者が集った会は40名以上の参加でした。各学級での話し合いももたれました。

生徒からは「裾出しを認めてもらいたい」だけでなく、「裾を入れた方が引き締まって見える」「集会の雰囲気大切にできる」「先輩たちが守ってきたルールだから自分たちが変えてもいいのか」などの「今までのまま裾を入れる」の意見も少なからずありました。

3年生を中心に多くの意見だったのが「自己判断」です。

生徒の意見から

- ・温度調節は人によって違うので、出す・出さないが両方あればいい。
- ・裾を出したくない人もいると思うので、その人はこれまでのままでいいと思う。
- ・中学生なので自分で判断して生活することも大切だと思う。
- ・自分たちは中学生なので、入れる場面か入れなくていい場面かは自己判断できる。
- ・先生方は心配しているけれど、シャツを出したことで風紀が悪くなるとは思わない。他のところで今までどおり学校のきまりを守って生活していれば大丈夫だと思う。どちらかにそろえることはしないで個人の判断で選択していくことが今の多様性の時代に合っている。

学校のきまりですので、様々なことをふまえて校長としてこのように決めました。

【Tシャツの裾について】

- Tシャツの裾については、自己判断で出しても入れてもよい。
- ・これまで同様、安全面に関わる場面や活動のときは先生方の指示に従って裾を入れる。
 - ・終業式始業式などでは、整える、そろえるための裾入れは考えない。

今回のことは、下諏訪中の皆さんにこれから大切にしてほしいことがいくつも含まれています。

- 1 学校を先生方と生徒の皆さんでつくっていきます(保護者の方も地域の方も一緒に)。
- 2 話し合いは100%どちらかに決まることはまずあり得ません。お互いの主張に耳を傾け、折り合いをつけながら、みんなでよりよい方向を見つけてほしいです。
- 3 自己判断できる自分づくりを頑張ってください。
- 4 自分と違う人に寛容になれる人になってほしいです。(考えも生活も多様だから)

今年度校友会テーマ「改革」で、私たち大人もこれまでの学校観を見つめ直す機会となります。

1 学期終了 保護者の皆様、地域の皆様のお支えに感謝いたします

大きな事故や怪我がなく1学期を終えられますことに感謝申し上げます。

終業式で子どもたちに話をした概要をお伝えします。過日、校長研修でいただいた講話で感銘を受けた話がもとになります。

3人の女性を紹介します。話を聞きながら3人の共通点を見つけてみてください。

1 田口愛さん（1998年生まれ）

小さい頃からチョコレートが大好きな田口さんは、大学入学後にバイトでお金を貯めて、カカオの主要生産地であるアフリカのガーナに行きました。カカオ農園で働く人は貧しい方も多く、「何かできることはないかな」と考えた田口さんは22歳のときにMpraeso 合同会社を立ち上げました。取り組んだことは主に2つ。1つは農家と政府の間に田口さんの会社が入って交渉をして、農家の収入を上げようとしたこと。一つは、農家が上質な豆を作れるように技術指導に入ってもらったこと。

「ガーナで病気にかかったときに助けてくれた方々に少しでも恩返しをしたい、その気持ちで始めたことです」と田口さんは語っています。

2 薄井華香さん（2005年生まれ）

薄井さんは高校1年生のときから社長を務め、現在はフードロスに関する活動をする「株式会社 Soffione」の代表をしています。実家は石川県の青果の仲卸業。「中学生のとき、廃棄野菜を使って料理していたことがきっかけです。捨てられてしまう野菜でも、料理すればおいしく食べられると知って、フードロスのために何かできないかな、と考え始めました」。

開店資金を前借りし、ひとり上京してビジネスを専門的に学べる単位制の通信高校に通学しながら自ら店も経営するという思い切った挑戦を決断しました。それぞれの果物の魅力をしっかりお客さんにお届けしたいと、フルーツ大福ごとの可愛い手書きの商品説明をつくるのもお店独自の取り組みになっています。

3 諸沢莉乃さん（2001年生まれ）

22歳の諸沢さんは今年の5月、「カレーハウス CoCo 壱番屋」（ココイチ）を1都8県でフランチャイズ展開するスカイスクレイパーの新社長に就任しました。高校1年生からココイチ店舗でアルバイトとして働き始め、19歳のとき、接客のスペシャリストの称号「スター」を最年少で獲得。祝賀式のときに当時の社長さんから次期社長の話があり、OKしたそうです。社長職について「不思議とプレッシャーはない。なぜなら、自分の中に、絶対に人の役にたきたいという強い思いがあるからです」と話しています。「もともと、誰かのために汗をかいていられる人でありたい、と思っていました。小さい頃から誰かのために動いている人に憧れがありました。そういう人を尊敬する気持ちがあったことで、私も人のために汗をかいて、人の笑顔の横で仕事がしたいと思うようになりました」と語っています。

共通点は見つかりましたか？ 実はとらえ方次第でいくつか共通点が見つかるのではないかと思います。周りの人と話題にしてくれるとうれしいです。

さて、夏休みになります。自分の好きなこと、関心のあること、挑戦してみたいこと、そんなことに取り組める機会です。皆さんそれぞれの取り組みを期待しています。

けがや病気、事故に気をつけて、2学期始業式に会いましょう。

皆様の見守りやご指導をいただき、有意義な夏休みを過ごさせていただければと思います。よろしく願いいたします。